



× DESKTOP
FABRICATION ×

Roland DG



DG Value News

第33期中間のご報告 2013年4月1日～2013年9月30日

Vision
ビジョン

イメージをカタチに

私たちローランド ディー.ジー.は「イメージをカタチにする」ソリューションを世界中の人々に提供し、新たな創造の世界を切り拓いていくことを目指しています。

私たちは、Imagine.(想像)こそがすべての分野における創造の原点であると考え、お客様が描いている Imagine.の世界を大切に、お客様とともに「想像を超える創造」を実現していきます。

▶ 世界200以上の国と地域で

連結販売子会社を中心に、世界200以上の国と地域のお客様に製品やサービスを提供しています。

● 連結販売子会社



▶ 独創的な事業展開

当社では、カラー事業と3D事業の2分野を中心に、デジタル技術でものづくりを効率化するソリューションを提案しています。

カラー事業



屋内外の大型看板やポスターなどを製作するサイン業界に向けて、業務用大型インクジェットプリンターなどを展開しています。

3D事業



製造業やデンタル分野などに向けて、刃物を使って形状を削り出す3D切削加工機やデジタル彫刻機、3Dレーザースキャナーなどを提案しています。

デジタル印刷



3 D



医療



パーソナル



企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう BIGGESTよりBESTになろう 共感を呼ぶ企業にしよう

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
第33期上期(2013年4月1日～2013年9月30日)が終了いたしましたので、事業の概況および連結の決算のご報告を申し上げます。

2013年12月



代表取締役社長 富岡昌弘

● 第33期上期 連結業績

プリンターの新製品効果と円安の影響により、増収増益となりました。

当上期は、欧州の景気低迷や新興国経済の成長率鈍化などにより不透明な状況が続く一方、日本では、円安や株価の上昇を受け景気回復への期待感が高まるなど、明るい材料も見られるようになりました。

このような状況の中、付加価値の高い新製品による市場の活性化や新市場の開拓などに取り組んだ結果、売上高は、プリンターの新製品が好調に推移したことに加え、円安の影響もあり、前年同期を上回りました。販売費及び一般管理費は前年同期に比べ増加したものの、円安にともなう海外子会社の仕入コストの低減効果などにより原価率は大幅に改善しました。この結果、営業利益、経常利益ともに前年同期を上回りました。また、四半期純利

益も前年同期を大幅に上回りました。

当社グループでは、グループ一体となり総合力を発揮することを目指す構造改革「GlobalOne(グローバルワン)」に取り組んでおり、その具体的な施策と数値目標を、平成25年度を初年度とする3ヶ年の「中期経営計画」にまとめ実施しております。これからも健全な利益を確保し、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■ 第33期上期 連結業績

売上高	197億48百万円	前年同期比	26.6%増
営業利益	25億28百万円	前年同期比	299.1%増
経常利益	25億88百万円	前年同期比	312.8%増
四半期純利益	16億45百万円	前年同期比	2,112.1%増

● **カラー事業**

各地域に最適なソリューションを提案しています。

先進国においては、高付加価値製品による市場の活性化を図っています。約6年ぶりに大型インクジェットプリンターのプロ用機種として昨年9月に投入したXR-640は、新たに搭載したライトブラックインクによる優れた色再現性や美しい写真表現が高く評価され、既存ユーザーの買い換え需要を中心に好調な販売が続きました。加えて、今年4月には、当社史上最速の出力スピードを実現したXF-640を発売し、仕事量の多い大手サイン業者への提案を行いました。当上期は、これら最新機能を搭載したプリンターの新製品が売上を牽引しました。

また、紙以外のさまざまな素材にも直接印刷が可能なUVプリンターによる新しいプリントビジネスの提案にも注力しました。なかでも卓上型UVプリンターLEF-12は、スマートフォンケースなどへ好みの絵柄や文字を加飾するカスタマイズ用途で、ギフト・ノベルティ業界へ浸

透しました。今年9月には、よりワイドな印刷エリアと高い生産性を実現した新製品LEF-20を発売し、さらなる市場の拡大を目指します。

一方、新興国では、中国において現地のサイン製作のニーズに対応したRA-640が好調に推移しました。また、新しくブラジル、中国および韓国に設立した販売子会社が本格的な活動を開始し、販売網の整備や新規市場の開拓を進めています。今後もそれぞれの地域の特性をダイレクトに把握しながら、現地ニーズに最適なソリューションを提供してまいります。

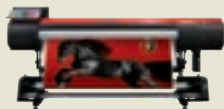
● **3D事業**

新市場への取り組みを強化しています。

従来からの主力分野である製造業や彫刻業に加え、デジタル化が急速に進むデンタル(歯科医療)分野やパーソナル(個人)分野に向けた活動を強化しています。

✓ **CHECK**

NEW 4月2日発表



**SOLJET PRO4
XF-640**

当社史上最速の毎時102㎡の出力スピードと高画質・高濃度印刷を両立した大型インクジェットプリンター。ビルの懸垂幕のような広い面積の印刷や商店街の旗やのぼりなど出力枚数の多い仕事に最適。サイン業における増設・買い替え需要を喚起します。

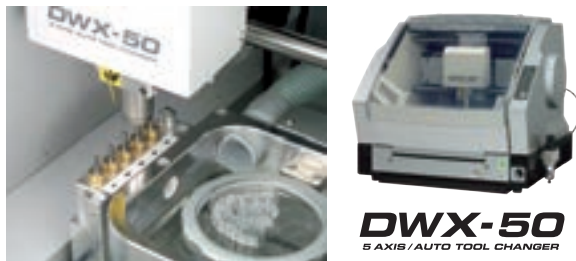
NEW 9月24日発表



**VersaUV
LEF-20**

厚さ100mmまでの樹脂や厚物素材に直接印刷が可能なUV-LEDインクジェットプリンター。幅508mm×奥行き330mmのワイドな印刷範囲と従来比2倍の印刷スピードを実現。ギフト・ノベルティ業や製造業に向けて提案していきます。

デンタル分野では、歯の治療に使用する新素材として注目を集めているジルコニア^④から入れ歯や差し歯などの義歯を削り出すデンタル加工機 DWXシリーズを活用した、新しい義歯製作ソリューションの提案に注力しています。加工機だけでなく、デジタル化のノウハウや技術サポートなどを含めた総合的なソリューション提案が行える体制の構築や、販売網の開拓が順調に進み、世界各国で導入が加速しています。



また、パーソナル分野においても新しい動きが始まっています。パソコンやネットワーク環境の急速な普及にとともに、個人がデジタルデータを活用して手軽にもものづくりを行う“パーソナル・ファブリケーション”が注目を集めるようになりました。当社では、コンパクトかつ導入しやすい価格の小型切削加工機などの提案を通じて、個人のデジタルものづくりを支援してまいりましたが、その活動の一環として、今年8月に開催された「第9回世界ファブラボ代表者会議」にメインスポンサーとして協賛(P9-10の特集を参照)いたしました。今後も新市場への取り組みを強化し、新たな3Dビジネスの構築を目指してまいります。

④ ジルコニア

金属よりも高い強度を持ち、見た目も自然な歯の色に近い、セラミックの新素材。当社DWXシリーズのような加工機で削り出すことで義歯を製作します。



● 第33期通期 連結業績予想

GlobalOne を推進し、新たな成長への経営基盤を構築します。

第33期の通期予想ですが、新製品を中心としたプリンターの順調な販売と為替の円安効果などにより、大幅な増収増益を見込んでいます。

また、当期よりスタートした中期経営計画に沿った構造改革と、新たな成長分野の創出に向けて積極的な経営資源の配分を行い、着実に実行していく一年としていきたいと考えています。

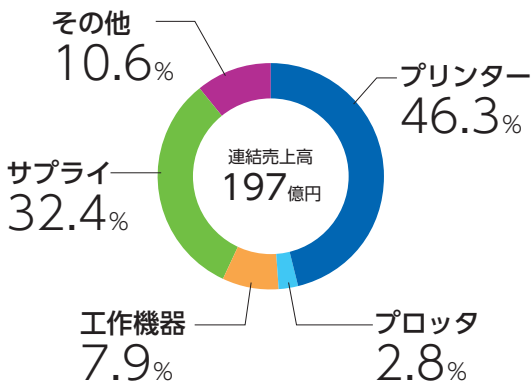
今後も、構造改革「GlobalOne」を推進し、新たな成長に向けた強固な経営基盤の構築に取り組んでまいります。

■ 第33期通期 連結業績予想

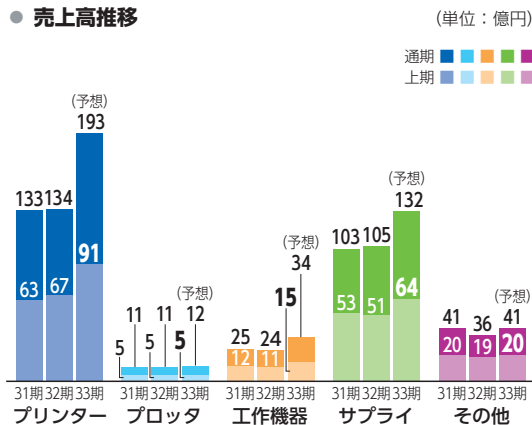
売上高	414億40百万円	前期比	32.5%増
営業利益	49億20百万円	前期比	245.5%増
経常利益	49億40百万円	前期比	278.0%増
当期純利益	32億30百万円	前期比	806.1%増

品目別

● 売上高構成比 (第33期上期)



● 売上高推移



(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

プリンター

91億51百万円 (前年同期比 36.0%増)

主力のサイン市場に向けた大型インクジェットプリンターの新製品 XR-640 や XF-640、RE/RA シリーズなどが好調に推移しました。また、卓上型 UV プリンター LEF-12 が、オリジナルグッズの製作用途で販売が進み、前年同期を上回りました。

プロッタ

5億51百万円 (前年同期比 7.6%減)

主力機種種の売上が伸び悩み、前年同期を下回りました。

工作機器

15億54百万円 (前年同期比 33.8%増)

製造業のものづくり分野に向けた主力の切削加工機 MDX シリーズが堅調に推移しました。また、顧客へのソリューション提案やトレーニング・サポート体制の構築が進むデンタル加工機 DWX シリーズが、先進国を中心に着実に市場へ浸透し、前年同期を上回りました。

サプライ

64億6百万円 (前年同期比 24.0%増)

北米や欧州、日本を中心にインクなどの売上が増加し、前年同期を上回りました。

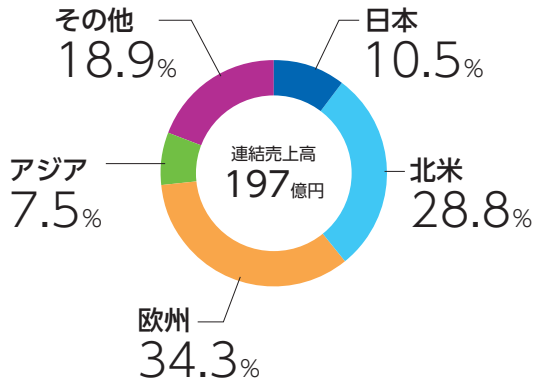
その他

20億83百万円 (前年同期比 7.0%増)

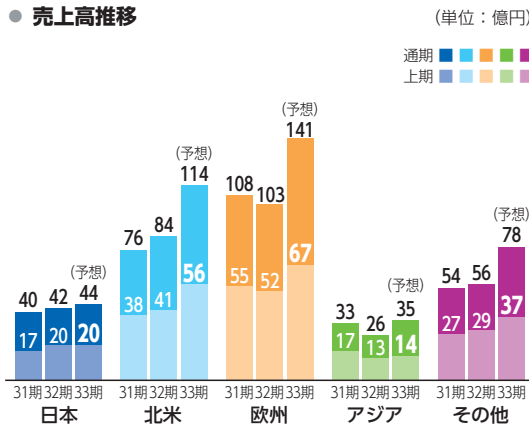
海外向けを中心にサービスパーツなどの売上が増加し、前年同期を上回りました。

地域別

● 売上高構成比(第33期上期)



● 売上高推移



(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

日本

20億72百万円(前年同期比 3.6%増)

サイン市場に向けたプリンターの新製品が好調に推移しました。また、販売網の整備が進んだデンタル加工機 DWX シリーズが伸長し、前年同期を上回りました。

北米

56億89百万円(前年同期比 37.5%増)

サイン市場に向けたプリンターの新製品が好調だったことに加え、卓上型 UV プリンター LEF-12 が、オリジナルグッズの製作用途で好調を持続しました。また、デンタル加工機 DWX シリーズの売上が大きく伸長し、前年同期を上回りました。

欧州

67億73百万円(前年同期比 30.0%増)

南欧地域では、深刻な景気低迷による厳しい状況が続いたものの、欧州全体では、サイン市場に向けたプリンターの新製品が好調に推移しました。また、販売網の開拓が順調なロシアなどの新興国において低価格なプリンターを中心に売上を伸ばし、前年同期を上回りました。

アジア

14億71百万円(前年同期比 10.8%増)

中国では、現地のサイン製作のニーズに対応したプリンター RA-640 が好調だったことに加え、デンタル加工機 DWX シリーズが売上を伸ばしました。また、韓国やアセアン地域においてもセールス・マーケティング活動の強化を図り、アジア全体では前年同期を上回りました。

その他

37億41百万円(前年同期比 28.1%増)

オーストラリアでは、サイン市場に向けたプリンターの新製品が順調に推移しました。また、ブラジルやアフリカ、中近東地域においても堅調な売上となり、前年同期を上回りました。

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	32期末	33期第2四半期末
〔資産の部〕		
流動資産	20,754	23,248
固定資産	10,873	10,789
有形固定資産	7,075	7,122
無形固定資産	2,891	2,885
投資その他の資産	907	781
資産合計	31,628	34,038
〔負債の部〕		
流動負債	5,822	5,711
固定負債	944	1,059
負債合計	6,766	6,770
〔純資産の部〕		
株主資本	26,833	28,212
その他の包括利益累計額	△ 1,972	△ 944
少数株主持分	0	0
純資産合計	24,861	27,268
負債純資産合計	31,628	34,038

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 連結貸借対照表

流動資産では、現金及び預金が11.3億円増加し、受取手形及び売掛金が7.4億円増加しました。また、その他の流動資産が4.7億円増加し、繰延税金資産が2.5億円増加しました。固定資産では、子会社の長期預金が2.2億円減少しました。

負債では、短期借入金が主に当社による返済で7.5億円減少した一方で、未払法人税等が5.8億円増加しました。

純資産は、利益剰余金が業績などにともない13.7億円増加し、円安になったことなどで為替換算調整勘定が10.2億円の増加となりました。

POINT 投資活動によるキャッシュ・フロー

前年同期は、定期預金の払戻しによる収入がありましたが、一方で関係会社株式の追加取得やタイ子会社の工場建設にともなう有形固定資産の取得が主な支出となりました。当期間は、有形固定資産や無形固定資産の通常の取得が主な支出となりました。

POINT 財務活動によるキャッシュ・フロー

前年同期は、配当金の支払いが主な支出でしたが、当期間は配当金の支払いに加え、短期借入金の返済による支出がありました。

さらに詳しい情報につきましては、下記のIRサイトを
ご覧ください。

<http://www.rolanddg.co.jp/ir/>

ローランド ディー.ジー. IR

検索 

四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	32期第2四半期 累計期間	33期第2四半期 累計期間
売上高	15,599	19,748
売上原価	9,814	10,485
売上総利益	5,785	9,263
販売費及び一般管理費	5,151	6,734
営業利益	633	2,528
営業外収益	79	142
営業外費用	86	83
経常利益	627	2,588
特別利益	9	2
特別損失	111	4
税金等調整前四半期純利益	525	2,586
法人税等	415	940
少数株主損益調整前四半期純利益	109	1,645
少数株主利益又は少数株主損失(△)	35	△0
四半期純利益	74	1,645

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	32期第2四半期 累計期間	33期第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,836	2,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,717	△506
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252	△1,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△138	905
現金及び現金同等物の期首残高	6,727	6,896
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	459	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,048	7,802

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 連結損益計算書

〈売上高〉

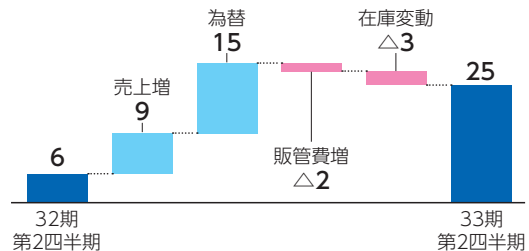
当期間の売上高に対する円安の影響は、24億円の増収要因となりました。

〈営業利益〉

営業利益の前年同期に対する変動要因は、売上の増加により9億円、円安により15億円、それぞれ増加しました。一方、販売費及び一般管理費の増加で2億円、在庫の変動により3億円、それぞれ減少しました。

● 営業利益の変動要因

(億円)



POINT 営業活動によるキャッシュ・フロー

主な増加要因としては、当期間において業績の向上により税金等調整前四半期純利益が大きく伸びたことや賞与引当金が増加したことなどによります。主な減少要因としては、前年同期に未収入金等の減少でその他流動資産が減少したのに対し、当期間では増加したこと、売上債権の増加や法人税等の支払額が増加したことなどによります。



特別講演では、取締役の伊藤が「デスクトップ・ファブリケーション」と題した講演を行いました。

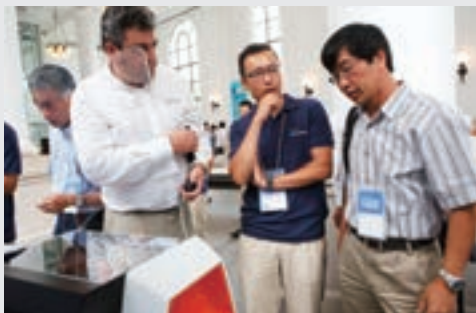
写真で見るFAB9



× DESKTOP FABRICATION × Roland DG



ワークショップでは、イタリア販売子会社のアカデミー担当者が当社インクジェットプリンター VP-300i を使用したステッカー製作の講習を行いました。



ファブラボに関わっている人々の視点やニーズに直接触れ、今後の製品開発に活かすことを目的に、オープンラボでは開発部門などのスタッフも参加しました。



FAB9 参加者を対象とした当社の都田工場見学会には、31 名の方に参加いただくことができました。デジタル屋台 D-Shop の説明など、当社のものづくりを紹介しました。

6月 第32期定時株主総会開催

6月19日、静岡県浜松市のオークラアクティビティホテル浜松において第32期定時株主総会を開催し、222名の株主様にお越しいただきました。社長の富岡より、事業報告および今後の事業戦略について説明を行い、決議事項は全議案原案どおり承認可決されました。総会終了後は、会場に併設した製品展示コーナーにて新製品の展示・実演を行いました。また、昨年好評をいただいた製品体験会を今年も引き続き実施。今回は個人向けに提案しているデジタルデコツール iDecora (アイデコラ) を使ってステッカーを製作いただきました。参加された株主様からは「こんなに簡単で、すぐにできるとは思わなかった」「身近なものへの装飾にiDecoraは簡単に使えるんですね」などのお声を頂戴しました。今後も株主様にご満足いただける株主総会の運営に努めてまいります。



総会当日の様子



好評を博した製品体験会

6月 日本スペイン交流400周年記念音楽会に協賛

6月11日、日本・スペイン両国の国交400周年を記念して開催された「交流年開幕記念音楽会」に協賛しました。2013年は仙台藩主・伊達政宗が支倉常長を大使とする慶長遣欧使節団を派遣してから400周年に当たることから、今年6月から来年7月にかけて日本とスペインの各地で文化、政治、経済、科学技術、観光、教育などの幅広い分野においてさまざまな交流事業が開催されます。「交流年開幕記念音楽会」は、一連の交流事業のオープニングを飾るイベントで、両国の皇太子殿下をはじめとする多数の来賓を迎え、マドリードの王立劇場で開催されました。劇場内は写真家・関口照生氏が、支倉常長の辿った道を撮影した心象風景の写真をバナーで装飾。当社はその出力に協力し、両国関係者の親善・交流に寄与しました。今後も、事業活動を通じて両国関係のさらなる発展に貢献してまいります。



当社プリンターで出力したバナーを大々的に展示



皇太子殿下に謁見する当社執行役員のホルヘ・カルボ
(写真提供: Borja Fotografos-Madrid/Spain)



世界各地で荣誉ある賞を受賞！

当上期は海外で開催されたサイン・印刷関連の展示会でさまざまな賞を受賞しました。6月にイギリスで開催された「FESPA 2013」において、当社の低溶剤インクECO-SOL MAX2が、環境への配慮や取扱いのしやすさ、優れた印刷画質を評価され、ヨーロッパの印刷業界誌団体「EDP」より「EDP AWARD」を受賞しました。また、7月に中国で開催された「第21回 上海国際広告・サイン・ディスプレイ産業総合展」において、卓上型UVプリンターLEF-12が、先進的かつ優れた技術や製品に贈られる「科技進歩賞」を受賞。同じく7月、ブラジルで開催された「セリグラフィア・サイン・フューチャーテキスタイル 2013」にて、優れた製品やサービスなどでユーザーに評価された企業に贈られる「シルク&サイン賞」を受賞することができました。今後もグループ一丸となって最高品質の製品とサービスを提供してまいります。



表彰額を受け取る英国子会社CEO ジェリー・デビス



浜松本社にローランド ディー・ジー・クリエイティブセンターがオープン

7月11日、浜松本社にクリエイティブセンターが新たにオープンしました。クリエイティブセンターは、お客様のビジネスに役立つさまざまな最新情報を発信するため、当社が世界各地で展開している独自のコミュニケーションスペースです。今回、本社ならではの取り組みとして、国内だけでなく世界中のユーザー様のアイデア溢れるサンプルを展示しています。また、海外販売パートナーの紹介や製品開発の歴史が一目でわかるパネルなども設置し、当社事業についてもご理解いただけるコーナーを設けました。



世界中の創造力が溢れる浜松本社クリエイティブセンター

営業サポート部マーケティング課 写真：左 横澤奈々 写真：右 原野ひとみ

浜松本社クリエイティブセンターは当社スローガン「創造の喜びを世界にひろめよう」を具現化したもので、訪れた全ての方に当社のファンになっていただきたいという思いを込めています。今後も世界中のユーザー様の事例など、最新情報を積極的に発信してまいります。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。



■ 株主優待品「世界中の子どもたちの笑顔と未来のために!」寄付のご報告

2013年3月31日現在の株主様にお送りしました「株主優待カタログ」において、「東日本大震災で被災した子どもたちへの支援」、「世界中の紛争や貧困により危機に瀕した人々への医療支援」、「盲導犬育成支援」への寄付を募集させていただいたところ、68名の株主様から寄付のお申し出をいただきました。合計214,200円を株主様に代わり現金にて認定NPO法人および公益財団法人に寄付させていただきました。また、優待権利未行使分286件 900,900円につきましては、「東日本大震災で被災した子どもたちへの支援」として当社名義で寄付させていただきましたことをご報告申し上げます。ありがとうございました。



NPO 法人「国境なき子どもたち」からの感謝状

DG Value News アンケート集計結果

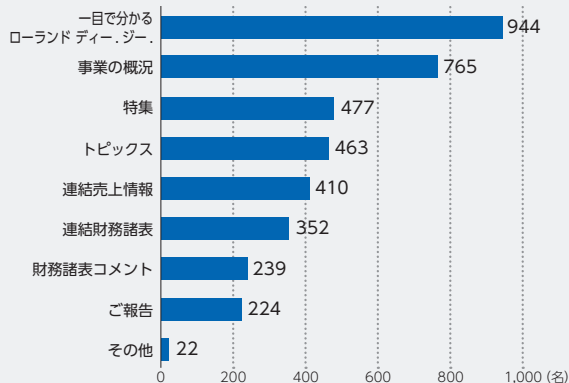
期 間：2013年6月21日から 2013年9月30日
 回答数：1,764名(2013年 3月31日現在の株主数13,645名)

当社が提供する新しい価値を株主の皆様へわかりやすくお伝えできるよう、アンケート内容を参考にさせていただくとともに、株主の皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望を今後の経営に活かしていきたいと考えております。下記にアンケート集計結果の一部をご紹介します。

Q 本誌をお読みにになり、興味を持たれた項目をお聞かせください(複数回答可)

前回の特集では、中期経営計画の背景や今後の重点テーマなどについて説明させていただきました。進捗状況につきましては、今後も事業の概況などで報告させていただきます。今回の特集では、FAB9への協賛について取り上げ、個人のものづくりを支える当社の取り組みをご紹介します。

今後も皆様からのご意見・ご感想をもとに、当社の取り組みをより深くご理解いただける紙面づくりに努めてまいります。



会社概要

商号	ローランド ディー.ジー.株式会社
設立	1981年5月1日
資本金	3,668,700,000円
主な事業内容	コンピュータ周辺機器の製造販売
従業員数	1,070人(連結)

役員一覧

取締役社長 ^{*1}	富岡 昌弘
専務取締役	鈴木 涉
専務取締役	ロバート・カーチス
常務取締役	堀田 修史
取締役	伊藤 純
社外取締役	広瀬 卓生
監査役	佐藤 仁郎
監査役	中川 正則
社外監査役 ^{*2}	木下 雅裕
社外監査役 ^{*2}	遠藤 克博

^{*1} 代表取締役です。
^{*2} 社外監査役 木下雅裕氏および遠藤克博氏は、(株)東京証券取引所が定める独立役員です。

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

事業所

本社	浜松市北区新都田一丁目6番4号
都田事業所	浜松市北区新都田一丁目1番3号
営業所	東京、名古屋、大阪、福岡
サポートセンター	札幌、仙台、広島

海外グループ会社

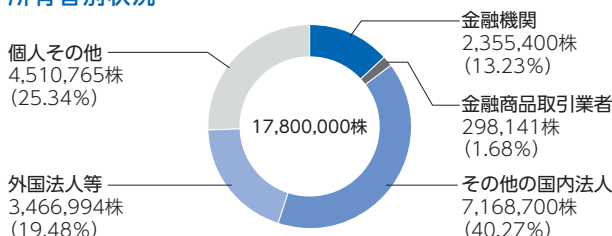
Roland DGA Corporation (アメリカ)
 Roland DG Benelux N.V. (ベルギー)
 Roland DG (U.K.) Ltd. (イギリス)
 Roland Digital Group Iberia, S.L. (スペイン)
 Roland DG Mid Europe S.r.l. (イタリア)
 Roland DG North Europe A/S (デンマーク)
 Roland DG Australia Pty. Ltd. (オーストラリア)
 Roland DG (China) Corporation (中国)
 Roland DG Korea Inc. (韓国)
 Roland DG Brasil Ltd. (ブラジル)
 Roland DG Deutschland GmbH (ドイツ)
 Roland Digital Group (Thailand) Ltd. (タイ)
 Roland DG EMEA, S.L. (ヨーロッパ)

株式の状況

発行可能株式総数	71,200,000株
発行済株式の総数	17,800,000株
株主数	10,136人

株主名	持株数	出資比率
ローランド株式会社	7,120,000株	40.00%
TAIYO FUND, L.P.	1,683,800株	9.46%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	860,100株	4.83%
ビーエヌワイエムエル ノントリーディー アカウント	423,900株	2.38%
ローランド ディー.ジー.社員持株会	412,100株	2.32%
富岡 昌弘	311,200株	1.75%
MSCO CUSTOMER SECURITIES	223,123株	1.25%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	196,300株	1.10%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	189,300株	1.06%
株式会社りそな銀行	140,000株	0.79%

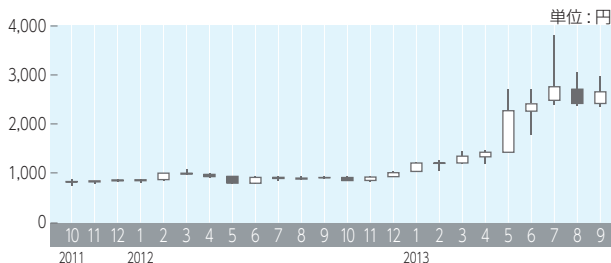
所有者別状況



^{*}自己名義株式460株は「個人その他」、証券保管振替機構名義株式8,500株は「その他の国内法人」に含まれています。

^{*}記載比率は、小数点第2位未満を四捨五入して表示しています。

株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会開催時期	6月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会の議決権 および期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
公告方法	当社の公告は電子公告とし、 インターネットホームページに掲載します。 http://www.rolanddg.co.jp/ir/index.html ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料) [受付時間9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
株主優待	毎年3月31日現在の1単元(100株)以上所有の株主様に、年1回当社が選んだ世界各国の名産品(3,000円相当)を掲載したオリジナルカタログの中から一品を選択していただくものです。(2013年6月実績)
本誌に関する お問い合わせ先	広報・IR課 TEL 053-484-1400
株式・株主優待に 関するお問い合わせ先	総務課 TEL 053-424-5041

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR サイトのご案内

当社では株主や投資家の皆様にご社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、ホームページを活用したIR活動にも注力しています。ぜひ、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください。



● 最新IRイベント

直近の決算発表日や個人投資家向けのIRフェアの出展など、IRに関する最新情報をお知らせしています。

● IRメール配信

メールアドレスをご登録いただいた方には、ニュースレターや決算情報などの最新情報をメールにてお知らせしています。

● はやわかりローランド ディー・ジー

「事業内容」や「業績」などの基本情報のほか、「当社の強み」や「当社製品の活用事例」などをわかりやすく紹介しています。

今後も皆様のご意見を反映させながら、IR活動の充実を図ってまいります。

<http://www.rolanddg.co.jp/>

ローランド ディー・ジー

検索